



# 『八王子に新たなシンボルを』 新たな創造から親しみやすい八王子市へ



## A new symbol for Hachioji From new creation to friendly Hachioji City

チーム プライド  
有賀昌子, 加藤孝代, 河内真紀, 富永美紀  
指導教員 水元 昇

創価女子短期大学 国際ビジネス学科 水元研究室

キーワード: 風景, パブリックアート, 市民意識向上, 町づくり, 街灯

### 1. はじめに

「八王子市」と聞くと、高尾山、豊かな自然、大学の数、便利な交通網など誇るべき利点が多くある。一方で、若者の定住率の低下や駅周辺の治安問題など様々な問題を抱えている。そこで、私たちは町の景観に着目し、昼も夜も過ごしやすく、心地よいと感じる町づくりを提案する。

共用地の活用」「野外照明の適正化や町路樹の計画的な植樹」等の意見が挙げられている。そこで私たちは市の中心部である駅周辺の景観を改善することで、より快適に安心感のある町になるのではないかと感じた。改善の第一歩として、夜間の安全性を上げることから始めたい。さらに、芸術を融合し市民や学生、八王子を訪れる人にインパクトや興味を与えていきたい。

### 2. 現状分析

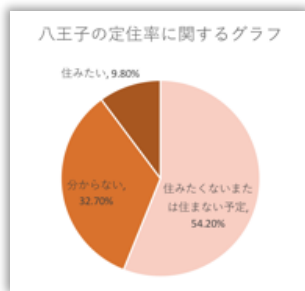


図 1 出典:はちおうじ学園都市ビジョン

八王子市のデータによると、図 1 のように八王子に住む学生の約半数以上が大学卒業後「住みたくない、または住まない予定」と答えている。

大きな理由として、八王子への関心をもつ人が少ないことにあると考えた。2016年の八王子市の課題に関する市議アンケート図 2 では少子高齢化、町づくりが上位に挙げられた。町づくりに着目すると「歩行者中心の町づくり」「有給公



図 2 出典:八王子市市議アンケート(2016)

### 3. 提案と実例



図 3: グローイング・ガーデナー

このような現状から私たちが提案するのは、八王子市内の大学生が中心となり、八王子駅に「街灯」を用いた「パブリックアート」を設置する計画である。パブリックアートとは、公共的な空間に設置される芸術作品のことで、環境的な特徴や周辺との空間の魅力を高める

役割を担う。図 3 のように実例として、JR 山手線の大崎駅の近くにある小人の彫刻が挙げられる。電車で駅を通り過ぎる際に、陽気な姿に思わず微笑んでしまうような可愛らしい印象を与えている。さらに、市の雰囲気に合わせて街灯を設置することにより、八王子の魅力を引き出されると考える。実例として、静岡県伊東市では図 4 のように、市町地のにぎわい創出に向け、温泉町らしい雰囲気



図 4:伊東市銀座元町

を演出するため発光ダイオード（LED）を使い、灯籠の中で火がともっているような照明にされている。

#### 4. 内容

##### ① 設置物

通行の邪魔にならないような大きさ、明かりの調節やデザインの作成を行う必要がある。これに、学生も参加し、協力して作り上げていく。

##### ② 設置場所

八王子駅北口側中町地区の西放射線ユーロード内（全長 350m）は、真っ直ぐに延びる道が印象的だ。しかし、違法駐輪が見受けられる。この場所に設置することで違法駐輪・治安問題の改善に寄付すると考えた。また、若者にも町改革の意識を持ってもらうために学生が中心となり街灯のデザインや構成をする。ここで市と学生が協力することで市民としての参加意識、八王子に対する誇りや愛着がより強まるのではないかと考えた。

#### 4 効果

パブリックアートには、美しさや楽しさ、その場所ならではの意味を表すことができる。八王子の空間をより価値のあるものにできると考える。また、見る人が喜ぶ姿や、生活に活気が出るような機能が期待される。また、夜間時の治安改善に大きく貢献するだろう。そして、パブリックアートを八王子市内の学生が協力し作成することでより身近に親しみを持ってもらえるのではないか。

#### 5.課題

・パブリックアートのデザイン  
町との不調和などの理由でデザインが好まれな

かった場合に相手にされず放置されてしまう恐れがある。そこで、デザインの作成には、専門家のアドバイスが必要と考える。

##### ・維持、管理

落書きなどの器物破損の恐れが考えられる。実際に最近、東京都新宿区の新宿駅西口に設置されている「新宿の目」が破損している事件があった。対策として、被害が最小限になるように素材を工夫したり、注意の呼びかけや注意書きなどが挙げられる。

#### 6.まとめ

八王子の風景を大切にすることは、市民にとって暮らしを大切にすることだ。八王子市に住み、暮らしてよかったと思える満足感は、美しく心休まる「まち」へと変化していこう。八王子の風景を活かし、パブリックアートを推奨していくとともに、景観、風景への市民意識の向上を図りたい。

#### 7.参考文献

・田村明著(2005年) 『まちづくりと景観』岩波新書出版

・八王子市サイト

(<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/006/001/index.html>) (10月18日)

・市議アンケート

(<https://www.townnews.co.jp/0305/2016/01/01/314096.html>) (10月18日)

・「松川遊歩道の街灯整備 温泉町の雰囲気演出」伊豆新聞デジタル

(<https://digital.izunp.co.jp/news/tourism/1621>) (10月23日)